

ほいほい hoi-hoi

意味

調子の良い返事や受け答え。

説明

この調子の良い背景には“喜び”がある。

用法

「～言うことをきく」

ほうほう hou-hou ほおほお hoo-hoo

意味

梟などの鳴き声。

ほうぼう 方々 hou-bou

意味

(1) 四方八方。あらゆるところ。あちこち。 (2) さんざん。

用法

(1) 「～を捜した」「～を見て歩く」(「を」は付けない例もある)「～す…」＝あちこちに出歩くようす。

・類似：(1) あちこち (2) さんざん

ほうほう 這々 hou-hou

意味

(1) 這うようにして、やっとのことで。かろうじて。 (2) 慌てふためくようす。

用法

(1) 「～の体」＝ひどい目にあって辛うじて逃げるようす。

・類似：(1) からがら

ほうほう 蓬々 hou-hou

意味

(1) 風の吹くようす。煙や湯気、蒸気などが盛んに立ちのぼるようす。 (2) ものがよく茂ようす。 (3) 髪の毛がひどく乱れるようす。

説明

《語源》「蓬」の字は植物の「よもぎ」のこと。

用法

・類似：(1) もうもう (2) ぼうぼう (3) ぼうぼう

ほかほか hoka-hoka ほっかほっか hokka-hokka

意味

とても温かみを感じるようす。

説明

「ほっかほっか」または「ほっかほか」がより強調された表現。

用法

「まだ～して湯気がたっている」

・類似： ぽかぽか

ほかほか hoka-hoka

意味

(1) 勢いの激しいようす。 (2) 軽率なようす。

用法

・類似： (2) うかうか

ほかほか 外々 hoka-hoka

意味

(1) そこ以外の別の場所。他の所。 (2) 一カ所ではなく、別々になること。

説明

《語源》「外」は、ここでは「よそ」のこと。

用法

・類似： (2) べつべつ

ほかほか hoga-hoga

意味

秋田・青森地方の方言で、小正月（旧暦の正月 15 日）の行事の一つ。

ほくほく hoku-hoku

意味

(1) 嬉しさを隠しきれないようす。よい収入などがあって喜ぶようす。 (2) 杖などをついて、静かに歩くようす。

用法

(1) 「～顔」

・類似： (2) ぼくぼく

ほくほく hoku-hoku

意味

ふかした芋などの、ふっくらとして崩れそうなようす。

用法

・類似：ぼくぼく，ほかほか

ほくほく 北々 hoku-hoku

用法

「北北西」「北北東」

・類似：なんなん

ほげほげ hoge-hoge

用法

(たいそう深い意味のないじゃれ言葉?)

・類似：げろげろ

ほそぼそ 細々 hoso-boso

意味

(1) とても細いようす。(2) …転じて、どうやらこうやら継続するようす。

用法

(1) 「～した手」(2) 「～と暮らす」「女手ひとつで～やってきた」

・対語：ふとぶと，ふてぶて

ほとほと hoto-hoto

意味

(1) 木戸をたたく音。(2) 斧で木を伐る音。(3) 正月行事での唱え声。

ほとほと hoto-hoto

意味

非常に。本当に。…をさらに強調。

説明

「ほんと」(＝本当)が重なった語とも思われるが、「殆」や「幾」の字を当てる説もあり、これでは重疊語とは言えない。

用法

「～困った」「～手をやく」(悪い場合の用法)，「～感心をした」(良い場合の用法)

ほとほと - しい hoto-hoto-shii

意味

(1) 殆ど〇〇しそうだ。 (2) もう少しで死にそうである。 (3) とても危ない。

説明

「殆しい」や「幾しい」の字を当てる説もあり、これでは重畳語とは言えない。とにかく物事を強調する用語。現在では使われない。

ほどほど 程々 hodo-hodo

意味

(1) 身分相応。身の程。 (2) ちょうど良い程度。ころあいの良いようす。 (3) 少し間が空いて。少し長い時間が経っている。適度な時間が経って。

用法

(1) 「身分も～」 (2) 「～にしておけ」 (3) 「～してから現れた」

・類似： (1) (2) そこそこ (3) やや

ほねほね 骨々 hone-hone

意味

とても骨が目立つ状況やようす。

用法

「ちょっとあの人は～だよ」

・類似： ごつごつ, がらがら
・対語： ぶくぶく, でぶでぶ

ほねほね - しい 骨々しい hone-bone-shii

意味

骨張っている。

用法

「～しい字」「～しい体つきだ」

・類似： ごつごつ, がらがら

ほのぼの 仄々 hono-bono

意味

(1) かすか。ほんのり。ぼんやり。ほのかに明るいうす。 (2) ほんのりとして心温まるようす。

用法

(1) 「～した明かりの中で」「～明け」＝夜がほのぼのと明けてゆく。 (2) 「～した話」「～とした話」

ほやほや hoyo-hoya

意味

(1) できたてで、柔らかく湯気が立っているようす。 (2) …転じて、ある状態になって間がない(できたて)の状態。 (3) 柔らかいようす。

用法

(1) 「揚げたての～だ」 (2) 「新婚～」

・類似：(1) ほかほか、あつあつ (2) あつあつ (3) ふわふわ、ふかふか

ほれほれ 惚れ惚れ hore-bore

意味

すっかり心を奪われ、うっとりするようす。

用法

「～するほどいい男」

ほれぼれ - しい 惚れ惚れしい hore-bore-shii

意味

ぼんやりしたようすである。放心したようすやぼけたようすである。

ほろほろ horo-horo

意味

雉や山鳥の鳴き声。

用法

「～と山鳥が鳴く」「～鳥」＝珠鷄。キジ目ホロホロチョウ科の鳥で、アフリカ産に多い。

ほろほろ horo-horo

意味

物を食べる音。

説明

現代での用法はない。

・類似：ぼりぼり、ぼりぼり

ほろほろ horo-horo

意味

(1) 木の葉などが散るようす。 (2) …転じて、人が散り散りになるようす。 (3) 着物などがもろくほころび、破れるようす。 (4) 涙がこぼれ落ちるようす。

説明

《語源》「ほろり」＝もろく落ちる／心に深く感じて、涙ぐむ／軽く酔う。

用法

(1) 「～と落ちる葉」 (2) 「～と泣く」

・類似：(1) はらはら (2) ちりぢり、ばらばら (3) ぼろぼろ (4) はらはら、ぼろぼろ